

# 革新、独創、発展性に挑む 研究開発者を支援

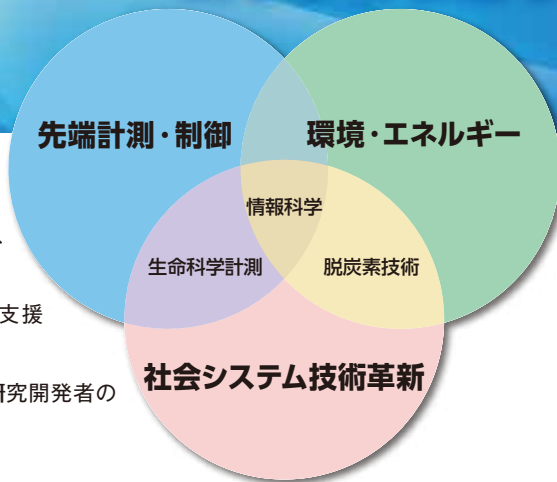
## 第15回 (2026年度)

募集期間：2026年6月1日～8月28日

# エヌエフ基金 研究開発奨励賞

研究開発募集

エヌエフ基金「研究開発奨励賞」は、革新性と独創性が高く、科学や技術の進歩、産業発展・社会変革に貢献する研究開発活動を顕彰し、研究開発のさらなる発展を支援することを目的としています。新たな価値を創成し、次世代を担う多くの研究開発者の応募に期待します。



2026年度 募集分野

「先端計測・制御」「環境・エネルギー」「社会システム技術革新」の3つの分野の研究開発を募集します。

### 先端計測・制御

新たな計測方法の実現や制御方法の高度化により、真理の探究や科学技術の発展・社会貢献につながる研究開発

### 環境・エネルギー

グリーン化の推進、エネルギーの利活用・需給安定化など、持続可能な社会の実現につながる研究開発

### 社会システム技術革新

既成概念にとらわれない新しい発想や手法を用いて、情報通信・医療/介護・交通・生産などにおける新たな社会システムの構築につながる研究開発

## 募集要項

NF Foundation R&D Encouragement Award 2026

### (1) 募集の対象となる研究開発分野

「先端計測・制御」「環境・エネルギー」

「社会システム技術革新」

(対象となる研究開発は上記の各分野の説明を参照してください。)

### (2) 選考基準

- 研究開発の概要と意義
- 革新性
- 独創性
- 科学や技術の進歩に役立つ発展性
- 産業発展・社会変革への貢献の可能性
- 使命感・考え方も評価の対象
- 研究開発途上であってもよい

### (3) 応募資格

2026年12月末時点で満35才以下の方

### (4) 応募書類

- 当財団所定の書式  
「2026年度エヌエフ基金 研究開発奨励賞応募申請書」
- 参考資料 (1件～3件)
- 写真 ※詳細は裏面の「応募手続き」をご覧ください。

### (5) 表彰内容

#### 研究開発奨励賞

10名 賞状・記念品・副賞 10万円

応募申請書および参考資料により、10名を書類選考し、賞状・記念品・副賞(10万円)を授与

奨励賞受賞者は、2026年11月2日(月)開催の「研究発表会」(オンライン形式)にて、発表を行うこと

#### 研究開発奨励賞 大賞

1名 賞状・記念品・副賞 100万円

上記受賞者の中から、研究発表会において特に優秀と認められた1名に賞状・記念品・副賞(奨励賞の副賞込みで100万円)を授与

### (6) 日程

- 募集期間 2026年6月1日～8月28日
- 研究開発奨励賞 発表 2026年10月上旬
- 研究発表会(オンライン) 2026年11月2日(月)
- 研究開発奨励賞 大賞発表・表彰式(一橋講堂) 2026年11月20日(金)

※研究開発奨励賞受賞者は、11/2研究発表会および11/20表彰式に出席していただきます。

## 第15回(2026年度)選考委員 (敬称略)

委員長	藤田 政之	金沢工業大学 教授 東京科学大学 名誉教授
委員 (五十音順)	天野 嘉春	早稲田大学 教授
	阿山 みよし	宇都宮大学 名誉教授
	大須賀 公一	大阪工業大学 教授 大阪大学 名誉教授
	勝本 信吾	東京都市大学 教授 東京大学 名誉教授
	釜道 紀浩	東京電機大学 教授
	古関 隆章	東京大学 教授
	小林 哲生	京都大学 特任教授 京都大学 名誉教授
	末包 哲也	東京科学大学 教授
	仙石 慎太郎	東京科学大学 教授
	奈良 高明	東京大学 教授
	長谷川 孝明	埼玉大学 名誉教授
	一杉 太郎	東京大学 教授
	廣瀬 哲也	大阪大学 教授
	山口 真悟	山口大学 教授

## 応募手続き

- 応募書類 ※提出書類は返却しません。
  - ① 当財団所定の書式「2026年度エヌエフ基金 研究開発奨励賞 応募申請書」(和文、ワード形式)  
※エヌエフ基金ホームページよりダウンロード
  - ② 参考資料 (1件~3件)  
論文集等または学会等での既発表資料 (和文もしくは英文)  
※発表会の資料として公開することがありますので、ご了承ください。
  - ③ 応募者本人の写真 (縦 560ピクセル × 横 420ピクセル)

### 応募方法

- ① エヌエフ基金サイト内の“応募申請フォーム”に必要事項を入力して、送信してください。(6月1日~8月28日)
- ② 応募書類一式は、所定のサイトよりアップロードする方法にて、ご提出いただきます。(電子応募)

①の申請フォーム受領後、申請者に対して電子応募要項および書類提出用 URL 等をお知らせします。要項に従って、応募書類一式をアップロードしてください。(6月1日~8月31日)

- 期日 応募申請 6月1日~8月28日  
応募書類提出 6月1日~8月31日

※応募申請と応募書類提出は期日が異なります。

## 一般財団法人 エヌエフ基金について

### ◆ 目的

科学技術の進歩にとり有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、また、社会の将来を担うべき有為の人材を支援、育成することを通じて、科学技術の振興を図り、より健全な社会と人類のいっそうの幸福の創造に寄与することを目的として、事業を行う。

### ◆ 設立趣意

現代においては、環境問題、エネルギー問題等をはじめとして、人類共通の或いは地球規模の問題が数多く出現するとともに、これらの問題の解決に当たってはグローバルな取り組みが不可欠との認識が漸く広く共有されるに及んでいる。もとより、これらの問題解決には科学技術に限らず、政治的、経済的、或いは文化的な観点等からのアプローチも求められるところではあるが、その基礎をなすものとして、科学技術に求められる役割は益々重要性を高めるに至っていると考えられる。

21世紀を迎え、研究開発活動は逐次高度化を遂げているところではあるが、このような状況をも踏まえれば、研究開発活動を一段と広く、更に深く促進し、また、これら活動全般を支える知的基盤を人類共通の資産として整備していくことが喫緊の課題と考えられる。また、研究開発活動は予算面、時間面、人的能力面等の制約のもと、とすれば短期的な成果に傾きがちなる場合も見られるが、新しい知を持続的に生み出しうるような重厚な知的体系を形成していくことこそが重要であり、そのためには、基礎的、普遍的な知的探求を、長期的視点のもとで推進、支援することもまた極めて重要と考えられる。

このような研究を担うべき人材面に関しては、国内外において情熱をもって知的創造に邁進する意欲的な研究者の育成と活躍の促進が必要不可欠であり、さらに遡って高等教育の段階においても、才能に恵まれ意欲に満ち溢れた人材の発掘、育成、支援が益々その重要性を増していると考えられる。

以上の基本的な認識に基づいて、当基金は、科学技術の進歩にとって有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、併せて、社会の将来を担うべき有為の人材を育成、支援することを目指して、頭書基金を設立することとした次第である。

### ◆ 事業

目的を達成するため、国内外において次の事業を行う。

- ① 科学技術研究、研究交流や学会活動に対する支援、助成
- ② 科学技術に関し顕著な業績を挙げた個人又は団体の顕彰
- ③ 科学技術研究に関する調査、情報の収集及び提供
- ④ 学生等への奨学金の給付
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

### ■ 法人概要

- 名称 一般財団法人 エヌエフ基金  
NF Foundation
- 所在地 (主たる事務所) 〒223-0052  
横浜市港北区綱島東6-3-20  
株式会社エヌエフホールディングス内
- 設立年月日 2012年3月28日
- 代表理事 辻 毅一郎